

Jアラートを通じて緊急情報が発信された時の対応について

弾道ミサイルが発射され、日本に飛来する可能性がある場合は、Jアラート等により情報伝達されます。防災行政無線で特別なサイレン音とメッセージが流れるほか、携帯電話等にも緊急速報メール等が配信されます。

弾道ミサイルが着弾した場合、激しい暴風や破片などにより、身体へ大きな被害を受ける可能性があります。爆風や破片などから身を守るため、状況に応じた避難行動をとることが大切です。

1) Jアラートを通じて緊急情報が発信された時の対応（※対象地域に「沖縄県」が入っている場合）

① 自宅にいる場合

- ・安全確認が取れるまで自宅で待機し、身の安全を確保する。
- ・できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋に移動する。
- ・床に伏せて頭部を守る。

② 登下校中の場合

- ・近くの建物（できれば頑丈な建物）の中に避難する。
- ・近くに避難できる建物がない場合は物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- ・バス等の公共交通機関では、車内に流れる情報や乗務員の指示を注意して聞き、その指示に従う。

2) Jアラートの解除後の対応（避難指示解除後）

- ・自宅待機中、登下校中の場合の場合は、安全を十分に確認してから登下校をする。

3) 遅刻や欠席の取り扱いについて

- ・遅刻や欠席については、当日の状況を考慮して弾力的に扱います。安全第一で登校してください。

※参考「内閣官房国民保護ポータルサイト」URL：<http://www.kokuminhogo.go.jp/kokuminaction/>



弾道ミサイル落下時の行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動
②正確かつ迅速な情報収集
行政からの指示に従って、**落ち着いて行動してください。**

国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロなどから身を守るために

事前に確認しておきましょう。
http://www.kokuminhogo.go.jp/gaiyou/shiryu/hogo_manual.html

ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧いただけます

首相官邸 ホームページ www.kantei.go.jp/
Twitterアカウント 首相官邸災害・危機管理情報 @Kantei_Saigai

Jアラート（例）直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが、●時●分 確、●●県周辺に落下するものとみられます。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら
落ち着いて、直ちに行動してください。

- 屋外にいる場合 **近くの建物の中か地下に避難。**
(注) できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになければ、それ以外の建物でも構いません。
- 建物がない場合 **物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。**
- 屋内にいる場合 **窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。**

近くにミサイル落下!

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。



ミサイルが飛んでくるときには
「Jアラート」が知らせてくれるよ!

- 外にあるスピーカーなどから、サイレンの音やメッセージが流れる
- 携帯電話やスマートフォンにメールが届く

もしもJアラートが流れたら…



外にいるときには
(学校に行く途中や公園で遊んでいるときなど)

強い風やかけらを避けるために建物の中に入ろう



すぐに建物の中や地下へ避難できないときには、
物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭を守る



建物の中にいるときには
(おうちの中や教室など)

窓ガラスが割れて、けがをするかもしれないから窓から離れよう



身を守る姿勢をとろう

学校にいるときには、先生のいう
ことをよく聞いて身を守ろう

弾道ミサイル攻撃を受けたとき 明暗を分けるのは避難行動

弾道ミサイルが着弾した場合、激しい爆風や破片などにより、
身体へ大きな被害を受ける可能性があります。
爆風や破片などから身を守るため、状況に応じた避難行動を
とることが大切です!



屋外にいる場合
爆風や破片などを避ける
近くの建物の中 (できれば頑丈な建物) または 地下へ
もしも、近くに建物がない場合は
物陰に身を隠す または 地面に伏せ頭部を守る
屋内にいる場合
爆風で割れた窓ガラスなどを避ける
窓から離れる または 窓がない部屋へ

よくあるご意見と回答

Q1 Jアラートが流れた後に
避難を始めても手遅れでしょう？

A. 避難行動にかけられる時間は限られたものですが、それでも、近くの中や地下へ避難する、物陰に身を隠すなど、わずかな時間でもできることはあります。

Q3 地面に伏せる、頭部を守る……。それで、ミサイル攻撃から身を守れるとは思えません

A. 横(水平)方向に広がる爆風や飛散する破片等に対して身体の衝突面を極力減らすことが重要なので、避難行動をとらない場合と比べて被害を軽減できる可能性を高めることができます。

Q2 近所には、丈夫な建物も地下もなく、避難できるところがありません

A. 横(水平)方向に広がる爆風や飛散する破片等に対して身体の衝突面を極力減らすことが重要なので、木造住宅へ避難するだけでも、避難行動をとらない場合と比べて被害を軽減できる可能性が高まります。

Q4 避難したところで、弾道ミサイルが直撃したら何をやっても無意味では？

A. 弾道ミサイルによる被害の程度は、その威力などによりさまざまであり一概には言えませんが、地下への避難などの適切な避難行動をとることで、避難行動をとらない場合と比べて被害を軽減できる可能性を高めることができます。



弾道ミサイル落下時の 行動について

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性もあります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

①速やかな避難行動

②正確かつ迅速な情報収集

行政からの指示に従って、落ち着いて行動してください。



国民保護ポータルサイト
武力攻撃やテロなどから身を守るために



事前に確認しておきましょう。
http://www.kokuminhogo.go.jp/gaiyou/shiryu/hogo_manual.html

—— ミサイル落下時には、こちらから政府の対応状況をご覧になれます ——



首相官邸
ホームページ
www.kantei.go.jp/



Twitterアカウント
首相官邸災害・危機管理情報
@Kantei_Saigai



Jアラート（例）直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが、●時●分頃、●●県周辺に落下するものとみられます。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください。

屋外に
いる場合

近くの建物の中か
地下に避難。

（注）できれば頑丈な建物が望ましいものの、近くになれば、それ以外の建物でも構いません。

建物が
ない場合

物陰に身を隠すか、
地面に伏せて頭部を守る。

屋内に
いる場合

窓から離れるか、
窓のない部屋に移動する。

近くに
ミサイル
落下！

- 屋外にいる場合：口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。
- 屋内にいる場合：換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。